

を察知する大人 候兆めいじめ

松山・清水地区 林家染太さん講演

自身の経験を交えて命の大切さを呼び掛ける染太さん



松山市清水地区の人権教育研究会（清水地区人権教育推進協議会など主催）が4日、同市清水町3丁目清水公民館であった。同市出身の落語家・林家染太さんがいじめをテーマに講演し、ユーモアを交えて命の大切さを訴えた。

地区の小中学生や住民ら約150人が参加。染太さんは中学生のとき、友人へのいじめを注意したことから

自身が暴力や嫌がらせを受けるようになり、自殺することばかり考えていたと説明。「なぜ自分が死ななくてはならないのかと思えば、教師や親に相談し、いじめがなくなった」とし、相談することやその受け皿がたぐさんあることも子どもに伝えてほしいと述べた。

染太さんは「大人の姿を子どもは必ず見て、まねをする」と力説。大人は自分の言動

に気を付けたら、子ども、師、地域が取り組むものいじめのサインに要性呼び掛けた。早く気付けるようにし、小中学生の人権啓発たりするなど、親や教ポスターや作文などの

入賞者表彰、入賞作文の発表もあった。

（高橋圭太）